日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2012. 06. 03

No.12-042

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

「控訴を決定した日本航空運航乗務員の決断を支持することをここに表明します。

日本航空経営に対しては、・・・自主的な解決策を早期に提示することを切に望むものです」

2012 年 5 月 1 日 OCCCから声明文が出されました

OCCC(Oneworld Cockpit Crew Coalition)

OCCCの「声明文」

私たちはワンワールド・アライアンス加盟航空会社に所属する 28000 名を超える運航乗務員で構成されているOCCC（Oneworld Cockpit CrewCoalition）という団体です。

私たちは、2010 年に発生した日本航空の経営破綻と、その後に行われてきた再建策について極めて強い関心を持ち、その動向を注視してきました。その中で、年齢と傷病履歴を基準に行われた運航乗務員の「整理解雇」に対しては、大変に大きな危惧を持ち全会員の総意を持って公正な判決を求め、パヌ・マキ委員長名で『陳述書』(2011.11.13）を東京地方裁判所に対して提出しました。

しかしながら、この度、東京地方裁判所が下した判決は、年齢と傷病履歴による差別を容認するものであり到底受け入れられる内容ではありません。「年齢による差別」は、多くの国々において違法とされており、明らかに世界標準から逸脱しています。また、「傷病履歴による差別」は、乗員が体調不良であるにもかかわらず、職を守るために乗務に就くことを強要することにつながり、安全運航を阻害する要因となる可能性があります。

日本航空経営によって強行された本整理解雇ならびにこれを正当化する東京地方裁判所の判決は、個人の人間としての尊厳を毀損するものであり、決して

許されるものではありません。OCCCは、本件について控訴を決定した日本航空運航乗務員の決断を支持することをここに表明します。
　また、日本航空経営に対しては、労使の信頼関係を取り戻し、日本航空の健全な運航を継続して行くためにも、自主的な解決策を早期に提示することを切に望むものです。

2012 年 5 月 1 日

注：OCCC（Oneworld Cockpit Crew Coalition）
世界各国の航空会社は、現在、いくつかのアライアンスを組織していますが、日本航空が加盟するアライアンスは、ワンワールドと呼ばれています。
アメリカン航空・英国航空・フィンランド航空・カンタス航空など各国の代表的航空会社が加盟するアライアンスです。
そのワンワールドに加盟する航空会社のパイロットたちの組織がOCCCです。
14 のパイロット組合、28000 名を組織しています。

昨年は、IFALPAや、OCCC議長名さらに、アメリカン航空や各国パイロット組織から陳述書や意見書が提出されました

OCCCの委員長であるCaptain Panu Makiによる陳述書

年齢順に解雇することは「年齢による差別」であること、傷病履歴による解雇は「乗員が体調不良にもかかわらず職を守るために乗務に就くという圧力を受けるのではないかと危惧します」そして「この解雇が個人の働く権利を犯し、また、個人の尊厳を傷つけるものだと確信するからです」

アメリカン航空乗員組合委員長による陳述書

「旅客機の操縦室で何か不具合が発生した時、乗客はいかなる状況にも対処できる操縦席のベテランパイロットを求めます。数千時間の飛行経験を持つベテランパイロットは、日本航空のみならず日本の航空業界や旅行者にとっても大切な財産です」「病気欠勤に基づく解雇は、航空会社がパイロットに病気が重い時であっても飛ぶことを強い、そのことによって更に飛行の安全を危うくすることになる

であろうと私達は危惧しています」

各国運航乗務員組織から意見書

アルパ・インターナショナル会長／この組合は、合計 37 のアメリカとカナダの航空会社に所属する 53,000 名を越える運航乗務員を組織する世界最大の労働組合

ウルグアイ・パイロット協会会長、事務局長

イスラエル・パイロット協会会長

フィンランド・パイロット協会会長

スターアライアンス・パイロット協会執行委員長／スターアライアンスは、ワンワールドと並ぶ世界の航空同盟の一つ。全日空をはじめとする世界25 社の航空会社に所属する 26,000 名の運航乗務員を組織する

皆様、2012 年度も引き続き整理解雇撤回を

支援する為のカンパにご協力お願いします